



日の出町議会「議場」にて  
令和3年11月30日撮影



令和4年を迎え、田村町長と小玉町議会議長からの、町民皆さまへ向けたメッセージをお伝えします。

## あけましておめでとうございます

皆さまには輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶びを申し上げます。日頃より町政運営にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。私は、昨年4月の町長就任時より皆さまから寄せられました信頼とご期待に応えるために、日々、丁寧で速やかな町政運営に努めているところでございます。

さて、2年にわたるコロナ禍において、世界中の人々の生活は一変いたしました。なによりもまず感染拡大の最中であって医療や介護、生活を支える仕事に従事されてきた方々のご尽力に感謝申し上げます。人に会えない、話ができない生活を強いられ離れて暮らす家族や友人との交流ができずに辛い思いをされてきた皆さまも多くおられることと存じます。この間、日の出町ではほとんどの行事が開催できませんでした。

令和4年については、2年間の経験をふまえて、開催方法や規模を工夫しながら、実施を検討していきたいと考えております。ただ、新たな変異ウイルスの感染拡大や医療現場の状況がひっ迫してきた場合には、昨年までと同様に、国や東京都の要請をふまえて、町としての方針を決定いたします。また、マスク着用、手洗いうがい、部屋の換気、三密回避等は引き続き皆さまにお願いをする感染防止対策です。更には3回目のワクチン接種は医療従事者の方々からすでに始めており、2月からは集団接種を開始する予定です。治療薬の開発も様々に進められておりますことから、希望を持ってコロナ後の新たな町づくりに取り組んでまいりますので、今後も皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

現在、日の出町では、第五次長期総合計画の前期計画に基づいて「生涯にわたって健康で安心して暮らせるまち、交流を基盤に若者も生き生き定住するまち、人と文化が輝くわたしのふるさとひので」を基本目標にかかげ、各種施策を進めております。

その一端をあげさせていただきますと、公共交通過疎地域の悲願だったコミュニティバスがいよいよ今年の夏に運行開始されます。町外から訪れる方々にも便利に利用していただき、みどり豊かな日の出町の四季折々を楽しんでいただけたらと考えております。

広域行政としては、昨年8月にあきる野市と学校給食センターの共同設置に関する協定を結びました。開設に向けてより具体的な計画づくりを進めてまいります。

施設の老朽化への対応では、庁舎と本宿小学校で改修工事を実施しており、他の施設やインフラについてもロードマップに基づき取り組む予定です。

今年の冬は温暖化の影響で大雪が懸念される場所ですが、日頃からの備えはもちろん、IT活用による情報伝達を含めて、万一の発災時には迅速で適切な行動をとってまいります。

時代が早いスピードで変化するなかで、アフターコロナを見据えて新たな日常にふさわしい施策の展開も求められます。IT・ICTの利活用により、情報発信ツールの充実、町税の電子マネーによる支払いなど開始しましたが、今後はマイナンバーカード利用でコンビニでの住民票等取得や各種施設のオンライン予約システムなど、順次開始に向けた準備を進めてまいります。

日の出町の財政運営については、東京たま広域資源循環組合からの地域振興費が令和3年度までは毎年10億円ありましたが、令和4年度から段階的に減少してまいります。そのため事務事業評価シートを改定し、事務事業全般について新たな視点で点検・見直す作業を行っております。また、福祉単独施策検証会議をお願いをして昨年11月に福祉施策の在り方について報告書をまとめていただきました。これらを参考に町の方針を定めて、令和5年度からの、日の出町の将来を見据えた行財政改革プラン策定に向けて全庁一丸となって取り組んでいるところでございますので、町民の皆さまと議会のより一層のご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして幸多き年となりますように、心からお祈りいたします。



田村町長

日の出町長 田村みさ子

## 変革の時期 果敢に取り組みます

## あけましておめでとうございます

令和4年の新春を迎えるに当たり、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また日頃より町議会の活動に対しまして、温かいご支援とご協力を賜り、心から御礼と感謝を申し上げます。

世界中に蔓延している新型コロナウイルス感染症は、依然として猛威を振るっております。前代未聞の状況が続き、11月末時点でも世界では毎日数万人を超える感染者が発生しております。

我が日の出町ではワクチン接種を最重要課題とする中で、町職員、町民の皆様と民間企業のご協力により接種場所や接種勧奨に対する取り組みが積極的であるとして厚生労働省から紹介されるほどの健闘をしています。地域の特徴を活かして推進する事で力を発揮できることがあることを実感しました。国全体としてのワクチン接種の徹底で感染安定化の期待が出てきましたが、今後の進展に最大限の注意を払って参りたいと思っております。

さて、昨年は我が町が様々な思いと経緯をもって受け入れた「二ツ塚廃棄物広域処分場」の運営方針の大きな転換期を迎える年でありました。近年、焼却残さ処理方法についての技術開発が続き、エコセメント化によって埋め立てが不要になる状況にあります。また、町歳入の重要な部分を占める東京たま広域資源循環組合からの地域振興費の交渉が決着し、段階的に年額が6割まで削減されることになりました。

この状況を受けて、新たな取り組みを模索するため、町は福祉施策についての検証会議を設置して見直しに取り組んでいます。先人が広域的な視野に立ち、処分場の受入れという名譽

る決断をされて以来、その振興費により生み出された一般財源により、国の施策に先駆けて独自の福祉施策を展開してきた経緯があります。最近ようやく国の施策が追い付いてきた部分もありますが、社会経済状況の変化に見合った見直しを進め、継続させるべき施策のあり方を町民の皆様とよく話して決め直す勇気が必要になりました。

議会は、第五次長期総合計画の策定等を通じて財政の健全化を図るとともに、持続可能な自治体運営に資する自主財源確保策の推進に取り組むよう提言してきました。行政課題は多岐にわたっていますが、今後は更に町民、議会、行政が三位一体となり豊かさや希望溢れる日の出町を目指し、出発する時ではないでしょうか。平坦な道ではないと思われませんが、次の10年へ向けて果敢な取り組みを推進させなければならないものと考えております。

本年も、開かれた議会を積極的に推進する事業を計画して、町民の目線に立ち、チェック機能、議決機関として、豊かな町づくりと福祉の向上のために、全議員がその職責を全うする所存でございます。町民の皆様の一層のご協力とご指導を賜りますよう、心からお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

日の出町議会議長 小玉正義



小玉町議会議長